

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
7	1					医薬品情報検索システム	
7	1	1				共通	
7	1	1	1			医薬品添付文書情報の参照ができること。 また、データはシステム提供業者より一括して直接提供され、更新が継続的に行われること。	○
7	1	1	2			添付文書情報以外の情報（薬価、先発/後発区分、薬剤画像等）も参照できること。	○
7	1	1	3			添付文書情報は複数同時に参照できること。	○
7	2					薬剤部利用内容	
7	2	1				相互作用チェック	
7	2	1	1			検索した薬品間での相互作用チェックが可能なこと。	○
7	2	1	2			チェックレベル(禁忌/慎重投与) の設定が可能なこと。	○
7	2	2				マスタメンテナンス	
7	2	2	1			採用薬品をレベル分けして管理可能なこと。	○
7	2	2	2			採用薬登録はオーダマスタと連携し、簡易に登録可能なこと。	○
7	2	2	3			添付文書情報が無い薬品についてはユーザ側で登録可能なこと。	○
7	2	2	4			薬品毎に任意の項目(10項目以上) を登録可能なこと。	○
7	2	2	5			薬品毎に任意のファイル(3ファイル以上) を登録可能なこと。	○
7	2	2	6			データはシステム提供業者より一括して提供され、年12回の更新が継続的に行われること。	○
7	2	2	7			採用薬については任意の項目を一括でCSVファイル出力が可能なこと。	○
7	2	3				医薬品集作成	
7	2	3	1			簡易な操作で院内医薬品集が作成可能なこと。	○
7	3					医師利用内容 (DI)	
7	3	1				検索一覧	
7	3	1	1			一覧表示する項目および順番は任意に設定可能なこと。	○
7	3	1	2			項目名によるソートが可能なこと。	○
7	3	1	3			一覧結果を印刷またはCSVファイル出力が可能なこと。	○
7	3	2				詳細検索	
7	3	2	1			薬品名（商品名/一般名）による検索（前方一致/部分一致/全一致）機能。	○
7	3	2	2			薬効（87分類/標榜薬効）による検索機能。	○
7	3	2	3			採用区分および投与経路による絞込み検索機能。	○
7	3	2	4			添付文書内のキーワード検索機能。	○
7	3	3				鑑別検索	
7	3	3	1			識別情報（本体/包装/色・剤形）からの検索（前方一致/部分一致/全一致）機能。	○
7	3	3	2			採用区分および投与経路による絞込み検索機能。	○
7	3	3	3			会社名または会社マークでの絞込み機能。	○
7	3	4				同効薬検索	
7	3	4	1			選択した薬品の同効薬検索機能。	○
7	3	4	2			同効薬検索時は同義語辞書を利用可能なこと。	○
7	3	4	3			採用区分および先発/後発区分による絞込み検索機能。	○

別紙1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
7	3	5				先発後発検索	
7	3	5	1			選択した薬品の先発/後発薬品検索機能。	○
7	3	6				薬品情報表示	
7	3	6	1			先発/後発品区分および規制区分が分かりやすく表示されること。	○
7	3	6	2			添付文書において表形式で表現しているものは表として表示されること。	○
7	3	6	3			院内で作成した任意の項目（10項目以上）を表示可能なこと。	○
7	3	6	4			院内で作成した任意のファイルをリンク表示可能なこと。	○
7	3	6	5			添付文書、緊急安全性情報、安全性情報等のPDFファイルをリンク表示可能なこと。	○
7	3	6	6			添付文書情報を印刷またはファイル出力可能なこと。	○
7	4					処方監査システム	
7	4					全体	
7	4	1				全体	
7	4	1	1			薬品マスタ及びチェックマスタはシステム提供業者より一括して提供され、年12回の更新が継続的に行われること。	○
7	4	1	2			処方指示入力または注射指示入力時に相互作用、投与期間、重複、用量、アレルギー、病名、患者属性、薬剤属性のチェックが可能なこと（他科服用中薬剤との重複・相互作用チェック含む）。	○
7	4	1	3			オーダ確定時チェックの際にコメント承認できる機能を有すること。	○
7	4	1	4			処方チェックは、レベルに応じてエラーレベル（エラー、警告）を設定できる機能を有すること。	○
7	4	1	5			持参薬処方時に当センターの服薬中薬剤との相互作用や重複などのチェックが可能なこと。	○
7	4	1	6			チェック結果をもとに院内共通利用のDI照会が可能なこと。	○
7	5					チェック機能	
7	5	1				相互作用チェック	
7	5	1	1			相互作用チェックは、今回処方と過去処方及び、他科処方とのチェックが可能なこと。	○
7	5	1	2			相互作用チェックは、隔日投与、曜日指定投与を考慮したチェックが可能なこと。	○
7	5	1	3			相互作用チェックは、薬剤単位に設定した「残存期間」を考慮したチェックが可能なこと。	○
7	5	2				投与期間チェック	
7	5	2	1			投与期間チェックは、投与日数が制限内であるかのチェックが可能なこと。	○
7	5	2	2			薬価収載日から1年未満の新薬は、「1回処方あたり8日制限」が自動でチェック可能なこと。	○
7	5	3				重複チェック	
7	5	3	1			重複チェックは、同一処方箋、同一診療科、他科処方にて処方された薬剤の組み合わせに対して、商品名(薬剤コード)または一般名グループの重複がないか、チェックが可能なこと。	○
7	5	3	2			重複チェックは隔日投与、曜日指定投与を考慮したチェックが可能なこと。	○
7	5	4				用量チェック	

別紙1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
7	5	4	1			用量チェックは、薬剤毎に設定した用量の制限値内であるかのチェックが可能なこと。	○
7	5	4	2			用量チェックは、年齢を考慮（小児月齢指定も可）したチェックが可能なこと。	○
7	5	4	3			1回量および同一薬剤処方時に、用量を合算して1日量としてのチェックが可能なこと。	○
7	5	4	4			常用量および制限量とチェックレベルを設定し、チェックが可能なこと。	○
7	5	5				アレルギーチェック	
7	5	5	1			アレルギーチェックは、患者情報のアレルギー薬剤に対して、同一の商品名（薬剤コード）または同一の一般名を含むチェックが可能なこと。	○
7	5	6				病名チェック	
7	5	6	1			病名チェックは、患者情報の病名に対して、病名禁忌のチェックが可能なこと。	○
7	5	7				患者状態チェック	
7	5	7	1			患者状態チェックは、患者状態（幼児、小児、妊婦、授乳婦、高齢者）による薬剤禁忌のチェックが可能なこと。	○
7	5	7	2			また、幼児、小児、高齢者は年齢範囲を設定可能なこと。	○
7	5	8				配合変化チェック	
7	5	8	1			注射オーダ発行時、同一Rp内に含まれる薬剤に対し、配合禁忌があるかのチェックが可能なこと。	○
7	5	9				薬剤アラートチェック	
7	5	9	1			薬剤入力時、属性情報（毒薬、劇薬、麻薬、向精神薬等）をアラート表示可能なこと。	○
7	5	9	2			薬剤入力時、コメント情報（術前投与注意等）をアラート表示可能なこと。	○
7	6					メンテナンス	
7	6	1				メンテナンス機能	
7	6	1	1			YJコードを基に、オーダ採用薬品との関連付けが自動で、簡単に行える仕組みを有すること。 また、必要に応じて手動修正も可能なこと。	○
7	6	1	2			メンテナンスは、使用するデータベース及びメンテナンスシステムが多岐に渡る事なく、一貫して同じシステムで照会・検索・追加・修正・削除など各機能操作が可能なこと。	○
7	6	1	3			メンテナンスは、使用するデータベースのエラーレベル（エラー、警告）の変更が可能なこと。	○